

水資源の保全

2024年度の進捗

- ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア (MMKI) とミツビシ・モーターズ (タイランド)・カンパニー・リミテッド (MMTh) での排水リサイクルプラントの稼働 (2024年度の排水リサイクル率: MMKI 75%、MMTh 79%)

基本的な考え方

人口の増加や、気候変動による自然環境の変化により、水需給がひっ迫する地域が拡大しており、水資源の保全に対する社会の関心は年々高まっています。

当社グループは、自動車の生産活動において、工業用水、上水（市水）、地下水などを使用しており、下水道や河川などへ排出しています。水リスクの高い地域では、事業活動への影響や取水および排水が周囲の環境に与える影響に配慮することが不可欠です。

各事業所では、排水水質などの各種法的要求事項を遵守するとともに、水資源管理に関する各国・各地域の情勢などを踏まえて、取水量の低減、水リサイクル技術の導入などに取り組んでいます。

各工場の取水源と排水先

工場	取水源（工業用水、上水、地下水）	排水先
岡崎製作所（愛知県岡崎市）	矢作川	神田支川→鹿乗川
京都製作所 京都工場（京都府京都市）	琵琶湖	下水道
京都製作所 滋賀工場（滋賀県湖南市）	琵琶湖	下水道
水島製作所（岡山県倉敷市）	高梁川	八間川→水島港
ミツビシ・モーターズ（タイランド）・カンパニー・リミテッド (MMTh)	ノンブラライ貯水池など	下水道
ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア (MMKI)	ジャティルフル湖	下水道

また、当社の取引先の操業においても水は不可欠であり、バリューチェーン全体での水リスク管理の重要性を認識しています。

取水量の低減

当社グループでは、生産工程で使用した洗浄水の予備洗浄への再利用、冷却水や温調用水の循環利用などにより、取水量の低減に努めています。

岡崎製作所およびミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア (MMKI) では、雨水貯留タンクを設置し、雨水の再利用も行っています。また、岡崎製作所では地下水をろ過する設備を設置しており、災害発生などによる断水時には工場近隣の方々にも飲料水を提供できるよう備えています。

（参照）取水量の低減

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/environment/water/index.html>



雨水貯留タンク（岡崎製作所）



地下水膜ろ過設備（岡崎製作所）

排水の再利用

当社グループでは、各事業所の所在地の水資源管理に関する情勢などを踏まえて、排水リサイクル技術を導入しており、現在、ミツビシ・モーターズ・クラマ・ユダ・インドネシア (MMKI) とミツビシ・モーターズ (タイランド)・カンパニー・リミテッド (MMTh) で、排水リサイクルプラントが稼働しています。

MMKIでは、2017年の工場設立時より排水リサイクルプラントを導入しており、2024年度における排水のリサイクル率は75%でした。また、MMThでも、2022年1月から排水リサイクルプラントが稼働を開始しており、2024年度の排水リサイクル率は79%でした。



排水リサイクルプラント（MMTh）

水質汚濁の防止

水質汚濁防止の取り組みは、ウェブサイトで報告しています。

（参照）水質汚濁の防止

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/sustainability/environment/water/index.html>